

入院時申し送り票の検討

外来診療部

森 沢 陽 子 ○志 村 敦 子
徳 弘 美 和 中 町 久 美
大 黒 千 明 府 川 貴 美 子
文 野 和 美

I はじめに

私達は、患者に一貫した看護を提供する為に、昭和58年12月に研究発表をした「外来での継続看護様式の検討」において、歯科口腔外科独自の入院時申し送り票を作成した。

以後、各科で検討し改善案を出し、昭和59年2月より全科で入院時申し送り票を記入してきたが、病棟の意見も反映させ、より役立つ申し送り票にする為、今回、アンケートで意見を聞き検討したので報告する。

II 期 間

昭和59年2月1日～昭和60年9月30日

III 方 法

- (1) 外来ナースへのアンケート実施（昭和59年5月）
3ヶ月目の現状把握
- (2) 病棟ナースへのアンケート実施（昭和59年7月）
病棟の希望を各外来に報告し、各科独自の入院時申し送り票作成の資料とする。
- (3) 各科独自の入院時申し送り票作成（昭和60年7月）
- (4) 各科独自の申し送り票に変更後、外来ナースへのアンケート実施
（昭和60年8月）
- (5) 各科独自の申し送り票変更後、病棟ナースへのアンケート実施
（昭和60年8月）

Ⅳ 結 果

(1) 外来の現状として、1回目のアンケート（資料1参照）より、約半分の科が入院時申し送り票を予定入院、即日入院共に1枚も記入発送できていない事がわかった。その理由としては、「診療につかない為、情報が得られない」「入院予約がわからない」「書く時間がない」等が上位を占めているが、他にも記入時間20～30分もかかる事や、主に記入する情報源となるカルテが、即入時、特に長くナースの手もとにおけないなどの事がわかった。

入院時申し送り票については、全項目記入していると答えたのは3科で、各科の希望としては、図があれば書きやすい（整形）、即入が多い為簡単に書ける様式が良い（小児科）など各科の特徴を生かした様式にした方が良いとの改善案が出た。

(2) 病棟側の希望としては、1回目のアンケート（資料2参照）より、入院時申し送り票を発送してほしい時期は、「患者入院2～3日前から前日まで」「入院当日」という意見が多かった。

又外来より伝えてほしい情報としては、患者の状態、経過、処置、検査結果、与薬、患者及び家族へのムンテラ内容等があがった。

入院時申し送り票は、8病棟が参考になっていると答えている。また、どういう状況の時に参考になるかとの問では「アナムネーゼ前の予備知識となる」「患者から情報が得られにくい時参考になる」等であった。

反対に参考にならないとする意見としては、「病棟に届くのが早すぎたり、遅すぎたりして役立たない」「内容が漠然としている」等であった。

(3) 資料3参照

(4) 2回目の外来ナースアンケート（資料4参照）では、申し送り票の送付枚数は、前回28枚だったのが81枚に増加している。記入時間は10～20分に短縮されている。また申し送り票の記入時期、病棟への発送時期、入院の予約や決定を知るにはどうするか等は、前回と同じ解答であった。

(5) 2回目の病棟ナースアンケート（資料5参照）では、申し送り票を知っていると答えた人が73%で1回目に比べ若干増えている。

外来から伝えてほしい情報や、どういう状況の時に参考になるか等は、前回とほぼ同じ解答であった。

V 考 察

当院は開院以来外来患者数が年々増加し、最近では、全科で1日に850～900人にのぼる日もある。診療時間は専門外来をもつ科以外の受付は8時30分～11時迄で、大半の患者が午前中に集中する。そのため、患者との接触は、診察や処置時の数分、月にして1～2回と非常に短い。又繁雑な事務に追われ、常時診察につけない事が多く、全診察室に対応するだけの看護婦は配置されていない。このような状況での入院時申し送り票の送付は、アンケートの結果より、いくつかの問題点があがった。その中で改善できる事として次の3つがあがった。

問題1)

送付時期が遅かったり早すぎたりで、アナムネーゼ聴取時、参考にならない。このことに対して

- a) 即入時、外来ナースが直接届けるか、テレリフトで送る時は、いつ、何で送ったか病棟に連絡する事にした。
- b) 予約入院時は、婦長経由で入院日の1週間前より、遅くても前日迄に送る事にした。しかし、外来ナースに入院日の把握ができない科が多く、そのような場合は、予定入院日をめやすに送付する事にした。

問題2)

外来カルテからは、わかりにくい患者像（プロフィール）を伝えて欲しい。この問題に対しては、当外来では、臨床経験年数の短いナースも多いが、とにかく、今の申し送り票を記入、送付しながら、患者との短い時間に、目的をもって意識的に、患者に接し、入院時申し送り票を充実させ、情報を提供してゆきたい。

また他施設では、初診時質問票で、通院診療では、聞き出しにくい日常生活環境、家族構成、仕事の内容、通院時間や方法も具体的に把握する方法として、患者の軽い負担ですむ用紙を考案したり、又、再来質問票を利用しているという報告もあるので、今後、これらを参考に検討してゆきたい。

問題3)

入院時申し送り票を送付している科及び送付枚数が少ないことに対して、外来ナースが各科相互に応援勤務体制をとっている為、入院情報をキャッチしたナースがすぐ記入できる様に、各科独自の入院時申し送り票マニュアルを作成し、記入する資料とした。

以上の対策にて、ひき続き入院時申し送り票を続けていくことにする。

VI まとめ

今回、4回のアンケート調査を資料に、入院時申し送り票を検討した結果、病棟からは参考になるとの意見がきかれ、今後も、継続看護という大きな目標に向い努力したい。

なお、入院時申し送り票の保存については、保存するか、そのつど処分するか、今後検討したい。

VII おわりに

私達は、この新しく作った申し送り票が、各病棟で活用されるよう、個々の患者に応じた項目を補充しながら、よりよい申し送り票へと発展していく事を願っている。

VIII 謝 辞

この研究にあたり、忙しい中、アンケートに御協力下さった病棟ナース、及び弘瀬婦長、倉岡婦長に深く感謝します。

〈参考文献〉

1. 菊地さわ子：患者の申し継ぎについて情報を伝達する為の一考察，共済医報5，1983
2. 加藤香代子：院内転棟申し送り書に関する考察（転棟目的にかなう申し送り書の作成），看護展望，VoL 18，4，1983
3. 長谷川美津子：こんな申し送りがされていれば〈日常ケアを見直そう〉看護学雑誌，48(8)，1984
4. 大森武子，落合清子：病院外来利用者の現医療機関選択態度について，看護研究3巻4号，10，1970

5. 大田すみ子：退院時サマリーと看護添え書きを通して看護の継続性を考える，看護学雑誌，48(6)，1984
6. 松島たつ子：個別的，継続的ケアの為の外来看護の役割，看護展望，VoL 19，3，1984
7. 川口弘子他：外来における患者情報の収集，看護展望，VoL 9，3，1984

資料 1

外来アンケート集計結果（59年 6 月 1 回目） 全科14枚配布
全科（100%）回収

1. 貴科は今迄に入院時申し送り票を何例書きましたか

例	0	1	2	3	4
予定入院	7 科	2	1	4	0
即日入院	8 科	2	3	0	1

2. 1 枚の申し送り票を書くのにどの位時間がかかりますか

10分未満	2 科
10～15分	2 科
16～20分	1 科
21～30分	4 科
未解答	5 科

3. 申し送り票を記入発送できない科はその理由を書いて下さい

- ① 診察についていない為申し送り票を記入する為の情報得られない… 17
- ② 診察についていない為予約をしたかどうか分からない…………… 11
- ③ 入院の予約を知る時期がおそく情報が得にくい…………… 6
- ④ 日々の業務に追われ書く時間がない…………… 6
- ⑤ 入院の予約をしてから入院までの期間が長く状態を把握しにくい…… 3

4. 申し送り票を記入するのはいつですか

予約当日	0	決定した入院日の3日前から前日	3
予約した次の日から3日以内	5	その他	1
入院の日が確定した時	4	未解答	1

5. 記入する際の情報源は何ですか

カルテから	10	患者より直接聞く	2
医師より患者への説明から	8	患者家族より聞く	2
医師より直接聞く	7	その他	1

6. 申し送り票の項目は全部書いていますか

はい	3	いいえ	7	未解答	4
----	---	-----	---	-----	---

①いいえと答えた科はどこが書きにくいのか、その理由をお書き下さい

入院までの経過 (経過の長いひとは書きにくい)	4	病気の説明 (診察についていない為わからない)	5
外来での処置, 検査, 看護	2	その他の特記事項	2

②どうすれば書きやすくなると思いますか

図が入ったりすると簡潔にまとまりやすい

患者と接する時間を長くすることにより書きやすくなると思う

7. 入院の予約を知る為にどのようにしていますか

医師に連絡もらう	5	診察介助時知る	1
入院予約台帳を見る	3	何もしていない	1
		未解答	4

8. 入院予約患者の入院日を知る為にどのようにしていますか

医師より連絡がくる	3	病棟に電話で確認する	1
		何もしていない	5
医師が入院台帳チェック時わかる	1	未解答	4

9. 入院時申し送り票に関する意見を書いて下さい

- ①各科の特徴を生かした様式にした方がよい…………… 4
- ②今の様式でよい…………… 3
- ③全項目記入は時間と内容に無理があるので、必要な項目だけ記入する… 2
- ④必要と思う患者だけ書く…………… 2
- ⑤即入が多いので簡単に書ける様式希望…………… 1

10. 病棟ナースに申し送り票について聞きたい事があればお書き下さい

- ①入院時申し送り票に対する意見を聞かせて欲しい… 3
- ②どのように役立っているのか…………… 2
- ③一番知りたい項目、内容は何か…………… 2
- ④患者把握に役立つか…………… 1
- ⑤申し送り票があって良かったケースはどんな時か… 1

資料 2

病棟アンケート集計結果（59年 7月 1 回目） 各病棟12枚配布
各病棟（100%）回収

1. 入院時申し送り票を知っていますか（全解答者数163名／対象者数215名）

はい	135名	63%	いいえ	28名	13%	無解答	52名	24%
----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

2. ①いつ入院時申し送り票を読む事ができますか

アナムネーゼをとる前	10	入院より大分前に読む	3
患者が病棟に入院した時	5	前日読む	1
当日の朝申し送りの時	4	読んだ事がない	1

②いつ送ってもらいたいと思いますか

患者入院前日迄に	8	入院当日に	4
患者入院2～3日前に	6	入院決定時送ってほしい	1
患者入院前に早めに	2		

3. ①病棟ナースとして外来から伝えて欲しい情報はどんな事ですか

外来通院中の経過	5	性格的なもので特に問題とすべき事 があれば	2
患者の状態・処置・検査結果与薬	5	病名・症状	1
患者及び家族へのムンテラ内容	5	連絡先	1
A D L	2	特記事項	1
患者の病識・プロフィール	3	今の項目内容で良い	1

②記入している情報に関する御意見があればお書き下さい

今のままで良い	5	詳しいのでよくわかる	1	なし及び未解答	8
---------	---	------------	---	---------	---

4. 現在の入院時申し送り票は参考になっていますか

参考になっている	8科	参考になっていない	2科
----------	----	-----------	----

①どういう時に参考になっていますか

即日入院	11	予定入院	12
------	----	------	----

意見……緊急時のみ申し送ればよいのではないかと。前もってわかるので助かる

②どういう状況の時に参考になっていますか

アナムネーゼ前の予備知識として参考になる	7
患者から情報が得られにくい時やアナムネをとるのが遅れる時	3
入院後すぐの検査、治療で患者が不在やカルテがない時	2

③参考にならない理由

病棟に届くのが早すぎたり遅すぎたりで役立たない	1
内容が漠然としている	1
最近入院時申し送り票が送られてこないのではわからない	1

5. 読まれた後は

①どのように処理されていますか

入院中は看護記録の後にはさんでいる	4	病棟で別に保管している	3
〃 はカルテにはさんでいる	4	無解答	2

②今後どの様にしたら良いと思いますか

アナムネゼ参考後処理する	9	退院サマリーと共に外来へ返送	1
看護記録にとじる	3	このまま続けてほしい	2
ファイルにとじる	2	無解答	2

6. 現在は各科共通の申し送り票ですが、将来は各科独自の入院時申し送り票を作成する事も考えています。貴病棟での科単位で御意見をお聞かせ下さい

整形外科……………疾患の部位・状態・A D L・外来処置希望

皮膚科……………皮膚状態の図示

内 科……………精神的・社会的プロフィール

放射線科・外科… 処方の内容

各科に分けなくて良い…………… 7

資料 3

入院時申し送り票の一例

昭和 年 月 日 (即入・入院予定)

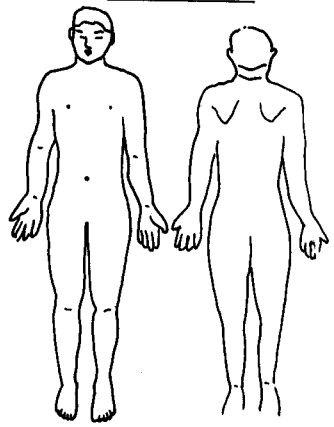
()病棟 ()科 送付年月日 (昭和 年 月 日) 記録Ns ()

入院までの経過 初診日 (昭和 年 月 日)

外来での看護及び特記すべき処置・検査・薬剤

病気の説明 (患者に対して) (家族に対して)

障害部位



病棟Nsへの伝達事項

- (1.特記すべき患者の状態 2.医師から得た情報)
- (3.病気に対する考え方 4.その他)

食事介助	要	不要	排泄介助	要	不要
着脱介助	要	不要	歩行介助	要	不要
洗面介助	要	不要	付添の希望	有	無

資料 4

外来アンケート集計結果 (60年 8月 2回目) 全科14枚配布
全科 (100%) 回収

1. 貴科は新しい申し送り票に変更後、今迄に何例書きましたか

例	0	1	2	3	4	5	6	10	13	21
予 定 入 院	5	1	2	3	1	0	1	0	0	1
即 日 入 院	7	1	3	0	0	0	1	1	1	0

2. ① 1枚の申し送り票を書くのにどの位時間がかかりますか

10分未満	なし	20～30分	1科
10分～15分	5科	30分以上	1科
15分～20分	7科		

②新しい申し送り票を書く時間は短縮されましたか

はい	6科	いいえ	3科	無解答	5科
----	----	-----	----	-----	----

3. 申し送り票を記入、発送できない科はその理由をいくつか選んで下さい

日々の業務に追われ書く時間がない	11
診察についていない為、予約をしたかどうかわからない	4
入院の予約を知る時間が遅く情報が得にくい	3
入院の予約をしてから入院までの期間が長く状態を把握しにくい	1
申し送り票を記入するための情報が診察についていない為、得られない	1
特に記入すべき問題が見つけられない	1
申し送る必要がないと判断した	1
その他(即日カルテが急ぐ為、置いておけない。外来通院時、大きな変化がない)	2

4. 申し送り票を記入するのはいつですか

予約した当日	5	決定した入院日の3日前	1
予約した次の日から3日後	2	その他	2
入院の日が確定した時	5		

5. 病棟への発送はどの位の時期に行っていますか

記入日に婦長に渡す	4	患者が病棟に到着してから送る	2
患者搬送時に直接病棟Nsに手渡す	3	患者が病棟に到着する迄に送る	1
		無解答	2

6. ①現在の申し送り票は以前の申し送り票に比べて書き易いですか

はい	7科	各科の特殊な項目が入って書き易くなった	1科
いいえ	3科	内容が変わっていない	1科
無解答	4科		

②どうすれば書き易くなると思いますか

眼科	眼圧の項目が欲しい
脳外科	ADLの欄があってもいいのではないか

7. 入院の予約を知る為にどのようにしていますか

医師に連絡をもらう	4	診察介助時たまたま知る	5
入院予約台帳を見る	5	何もしていない	0

8. 入院予約患者の入院日を知る為にどのようにしていますか

医師より連絡がくる	3
医師が入院台帳チェック時わかる	3
病棟に電話で確認する	1
何もしていない	5
無解答	3

資料 5

病棟アンケート集計結果 (60年 8月 2回目) 各病棟12枚配布
各病棟 (100%) 回収

1. 入院時申し送り票を知っていますか (全解答者数188名/対象者数215名)

はい	158名	73%	いいえ	30名	14%	未解答	27名	13名
----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

2. いつ入院時申し送り票を読むことができますか

アナムネーゼをとる前	6	即入はすぐ読む	2
当日、朝、申し送り前	3	予定入院は読んでない	1
前日	1		

3. 病棟ナースとして、外来から伝えて欲しい情報はどんな事ですか

外来でした処置・検査・与薬・予定検査	7	感染症 (HB・ワッセルマン) 赤字で連絡	2
通院中の経過及び入院目的	6	精神面や接する上での注意	2
患者の状態・ADL	5	経済面や家族事情	2
患者及び家族へのムンテラ内容	4	ムンテラをした医師名及び看護婦のサイン	1
患者の病識	2	検査入院の場合は入院時申し送り不要	1

4. 以前の申し送り票を検討の結果、新しい入院時申し送り票を考案しました。この入院時申し送り票は参考になっていますか

参考になっている	11	参考になっていない	2
----------	----	-----------	---

①参考になっている

即入時	1	患者から情報が得にくい時	1
即入・予定入院共	1	アナムネーゼの予備知識として	4
アナムネーゼ時	1	入院後すぐの検査・治療でカルテがない時	1

②参考になっていない

早く送られてきている物は忘れる	1
緊急入院時ないことがある	1
カルテのアナムネとほぼ同じ内容である	1